

こだま俳壇(9月句会)

廃線のレールに続く花野かな
葉して長編閉じる夜長かな
句を拾い傘寿の秋を楽しめり
肩車空を指さす良夜かな
顔に絵の女ら妖し夏祭
野地菊や向こうの海の波しぶき
親友の亡くなりし日の蝉時雨
皺深き顔を鏡に長き夜
保険証残すに署名百日紅
人絶えて看護の詰め所長き夜
秋晴れや運転免許更新す
長き夜は友より来たる吟醸酒
蠓螂の怒っているよ物価高
台風の進路にやきもき旅支度
秋うらら二人を送る大さん橋
久々の横浜スタジアム花火見る
夜長し「チボ一家の人びと」を読む
独り膳少し豪華に良夜かな
一生の最晩年の良夜かな

田中 一男
友井 眞言
角田 英昭
中野みどり
柳瀬 節子
高橋 和江
白井保次郎
中村 桂子
島田多嘉子
本山 文子
瀧澤 正行
大塚 俊高
並木まり子
小室 豊子
常世田芳子
後藤 貞夫
木村 武子
松尾佐知子
講師 太田土男先生